

第1回常務委員会での指摘と対応

第1回常務委員会での指摘事項		対応	頁
1	全体 都市計画とまちづくりの使い分けをどのように行っているか。大別すると都市計画は行政が行う法定都市計画で、まちづくりは自分たちの地域についての計画や活動をどうしていくかといった意味合いになる。	冒頭に定義を記載する形で対応するが、都市計画は制度を指す場合に使用することとする。	目次2ページ目 下段
2	現行都市計画マスタープランの評価について実施したこと以外に実施が出来なかったことやしなかったことについても教えていただきたい。	別紙「現行都市計画マスタープランの進捗状況」を参照。	
3	人口減少や高齢化が進行する中でも経済発展のために生産性の向上を目指すのか、または、人口減少や経済力の低下等は容認した上で如何に豊かな暮らしを送るかを大切にしていけるのか、茨木市はどちらに重点をおいているのか。	人口減少や高齢化が避けられないことは認識しているが、今後も住み・働き・学ぶことができる都市として、市民が豊かに暮らし続けることができる地域を守り育てていくための施策を行っていきたいと考えている。 この考え方については新たに16ページへ記載することとした。	16 「市民が考えるまちの姿」冒頭
4	総合計画の策定に向けて、どのような意見が出ているかを知った上で議論した方がよいと思うため、次回、総合計画の概要版だけでも示していただきたい。	別紙「第5次総合計画(素案)」を参照。	
5	都市計画マスタープランを総合計画にビルトインするということであるが、「市民が考えるまちの姿」のキャッチフレーズも市民の意見を受けて決定したのであれば、キャッチフレーズについても統一してはどうか。	総合計画のスローガンと都市計画マスタープランのキャッチフレーズは異なるが、考え方は統一している。別紙「第5次総合計画(素案)」を参照。	
6	成果指標・進捗管理の仕組みについて 計画の進行状況の点検への市民参加の仕組みや計画の進捗管理のような内容については掲載する予定か。 指標設定は難しい面もあるが、中間評価しながら進められない施策については見直しを行えばよいのではないか。 マスタープランは実効性がないと言われることが多いため、絵に描いた餅にならないようにしたほうがよい。	総合計画において市全体の施策評価を行う予定となっており、都市計画分野についても総合計画の施策評価に基づき進捗管理を行う予定である。	
7	序章 4ページに茨木市から撤退した企業が記載されているが、策定期間にはパナソニックも撤退していると思われるため追加してはどうか。	現状では不明な点も多いため、マスタープランへの記載については判断が難しいが、土地利用等に関する適切な誘導については随時行う。	3 (2)現在(平成26年)の本市の状況
8	素案に記載されている社会情勢にはマイナス面があるが、プラス要素として捉えて書くべきではないか。例えば高齢化であれば高齢者が今後どのように都市で活動してくれるか、アクティブシニアの活用を前向きに書くべき。	課題についてはマイナス面としてのみ捉えるのではなく、プラス要素として捉えるべきだと考えている。プラス要素としての考え方が伝わるように文章表現の検討を行う。	11 ①高齢化の進行と人口減少社会の到来
9	市民が考えるまちの姿 「人が育ち、人を育てるまち」で「育てる」をもう少し広い意味で捉えられないか。	「育てる」に関しては、「人が育ち、人を育てるまち」以外に「夢に向かってチャレンジができるまち」や「なりわいを大切にすまち」において人が活躍できる環境を整える考えを記載するなど、ご指摘をいただいた視点を持って記述を行っている。	20,24,26 市民が考えるまちの姿

10	都市づくり プラン ～本市に おける都 市構造・土 地利用の 考え方～	35ページの「本市の魅力・強みを活かした都市づくりの推進」について、文章中に「市民の知的好奇心を満たす」という表現が出てくるが、「刺激する」に変更してはどうか。	「刺激する」に修正を行う。	34 本市の魅力・強みを 活かした都市づくり の推進
11		35ページの「本市の魅力・強みを活かした都市づくりの推進」について、文章中出现してくる「新たなビジネス」については広い意味で捉えられるよう、平仮名の「しごと」等に変更した方がよいのではないか。	「しごと」に修正を行う。	34 本市の魅力・強みを 活かした都市づくり の推進
12		35ページに「モデル的な都市づくり」とあるがイメージはあるのか。	例えば東芝工場跡地でのスマートコミュニティ構想においては、エリアマネジメントの実施も考えられていることから、モデル的な都市づくりの推進を目指すこととしている。	34 本市の魅力・強みを 活かした都市づくり の推進
13		3つの柱と施策展開方針は上手くつながっているのか。	都市構造・土地利用の考え方の3つの柱を基本として、個別の施策に取り組む。	39～73 都市づくりプラン テーマ①～⑬
14		個別の施策から3つの柱の実現について評価ができるか。3つの柱と個別の施策が上手くつながっていることが分かった方がよいのではないか。	都市構造・土地利用の考え方と都市づくりプランの関連性が分かるよう、都市づくりプランのテーマごとに、関連性の強い都市構造・土地利用の考え方を示すようにする。	
15		多核ネットワークの考え方はよいと思うが、生活拠点や地域拠点において、徒歩や自転車などで生活が成り立つような計画はあるのか。	徒歩や自転車でいける範囲に生活拠点を維持していくための施策の推進に努める。	35 「多核ネットワーク型 都市構造」の形成
16	都市づくり プラン	空き家が課題となってきたため、住み替えシステムの構築などが必要になってくるのではないか。	空き家活用については43ページの都市づくりプランテーマ③「既存ストックの活用を進める」や、84～85ページ「都市構造⑤更新時期を迎えつつある住宅団地」に記載している。	43,84,85 都市づくりプラン テーマ③、都市構 造⑤
17		自治会加入率の低下も地域コミュニティの面から見て大きな課題であるため、互助の考え方として取り入れてはどうか。	互助の考え方については「第1章 市民が考えるまちの姿」の『「人持ちになろう」が合言葉のまち』に含まれていると考える。	22 「人持ちになろう」が 合言葉のまち
18		シェアハウスなどの住まい方は、近年浸透していることから、空き家活用に上手く取り入れられたらよいのではないか。	今後、シェアハウスという住まい方は増加していくと認識しているが、現時点では制度上の課題があり、「空き家の活用による多様な住まい方のできる住宅の供給促進(84ページ)」に含めている。	84 都市構造⑤更新時 期を迎えつつある 住宅団地
19		54ページの「産官学の連携」を「産官学民」としていただけないか。これからのまちづくりでは「民」も重要である。	「産官学民の連携」に修正を行う。	55 都市づくりプラン テーマ⑦
20	都市構造	都市構造の区分が、都市機能による分類となっているが、この分類方法を取ると個性や地域性がなくなるのではないか。政策的な面からみるとよいが、地域の個性をどう活かすかという視点を入れられないか。	「それぞれの地域の個性を活かす」ことを前提にしている旨を明記する。	75 3.都市構造
21		都市構造の方針は今回提示していただいたものでよいと思うため、「それぞれの地域の個性を活かしながら」ということを前提にしていることを明記していただけたら良いのではないか。		
22		計画期間が今後10年間のマスタープランであるのに、インターチェンジについては触れないのか。インターチェンジのインパクトは非常に大きいと思うため、記載すべき。	インターチェンジによる北部地域への影響は非常に大きいと認識していることから、詳細については別途検討している内容の一部を80ページの北部地域に記載している。	80,81 都市構造③ 北部地域